

## ILSI Japan 活動報告 <2010>

### バイオテクノロジー研究会

#### バイオテクノロジー研究会全体

1, 2月	<ul style="list-style-type: none"><li>・2010年2月9-11日開催の第2回 ISO および AOAC 共催 Sampling Detection Method (ISO/TC34/SC16) 国際会議に出席。</li><li>・2010年2月9-11日開催の第2回 ISO および AOAC 共催 Sampling Detection Method (ISO/TC34/SC16) 国際会議の ILSI Japan 主催、IFBiC および CLI 共催、農林水産省、FAMIC、食品総合研究所後援ポストワークショップ「GMO 検知技術の国際動向」2月12日に開催</li></ul>
3, 4月	消費者庁とのコンタクトを検討予定：表示拡大について。
5, 6月	表示拡大について、消費者庁とのコンタクト先が判明。
7, 8月	第1回部会開催(8/2)； <ul style="list-style-type: none"><li>・アレルギー性タンパク質の分析法に関する2009年開催の HESI シンポジウムの報告。</li><li>・リスクコミュニケーションとしての出版物発刊の提案。</li></ul>
9, 10月	第2回部会開催(8/23)；リスクコミュニケーションとしての出版物原稿の内容検討。 <ul style="list-style-type: none"><li>・2011年度開催予定の第6回「栄養とエイジング」国際会議；ILSI Japan 30周年記念シンポジウムの第4, 5および6回プログラム会議に、バイオ部会として参画するために部会長が出席した(8/31, 9/15 &amp; 10/15)。</li><li>・「遺伝子組換え食品を理解する」を発刊(10/7)。</li></ul>
11, 12月	<ul style="list-style-type: none"><li>・第3回部会開催(11/6)；2010年度の活動報告および2011年度の活動計画検討</li><li>・「遺伝子組換え食品を理解する」を増刷。</li></ul>

#### 【植物研究部会】

1, 2月	
3, 4月	第1回幹事会開催。今年度の方針討議：具体案は未定。状況を見る。 部会を6月中には開催。微生物分科会の検討。
5, 6月	2011年度開催予定の第6回「栄養とエイジング国際会議；ILSI Japan 30周年記念シンポジウム」に、バイオ部会として参画するかを検討するための、第1回全体会議が開催され、部会長が出席した(6月)。
7, 8月	2011年度開催予定の第6回「栄養とエイジング」国際会議；ILSI Japan 30周年記念シンポジウム」第2および第3回プログラム会議に、バイオ部会として参画するために部会長が出席した(7/21 & 8/10)。
9, 10月	
11, 12月	

### \*環境リスク評価分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	
11, 12月	

### \*アレルギー性タンパク質の分析方法分科会

1, 2月	
3, 4月	国立医薬食品衛生研究所の手島部長訪問：現状を確認し、バイオ部会での講演を依頼。
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	
11, 12月	

### \*組換え体検知法分科会

1, 2月	
3, 4月	農水省・FAMIC へ、2月12日開催のポスト ISOGM 検知ワークショップの報告書作成・送付。
5, 6月	農水省・FAMIC の久田課長に、2月9～11日開催の ISOGM 検知ワークショップの記事をご執筆いただいた（「イルシー」誌 101号）。
7, 8月	
9, 10月	
11, 12月	